2022年3月4日
在グアテマラ日本国大使館

公開情報のとりまとめは以下の通り。

1 内政

（1）ロメロ社会開発大臣の不祥事

5月30日、エル・ペリオディコ紙はロメロ社会開発大臣が3人のセックスワーカーに囲まれている写真を公開。社会開発大臣は、写真は偽装であると主張。ジャマテイ大統領はメディアに対し「まず、写真が真実であるか証明すべき。」と述べた。

（2）グアテマラ社会保険庁新長官の就任

4日、グアテマラ社会保険庁（IGSS）の新長官にホセ・アドルフォ・フラメンコ・ハウ氏が就任した（任期2021年-2027年）。同氏の就任にはレイラ・レムス憲法裁判所判事（元官房長官でジャマテイ大統領の側近の一人であった）が関わっていると言われている。

（3）弁護士・公証人組合選出の憲法裁判所判事の就任

憲法裁判所の判事として弁護士・公証人組合から選出されていたネストル・バスケス判事とクラウディア・パニアグア補欠判事は、憲法裁判所判事選出プロセスにおける両氏への異議申し立て案件が未解決であったため、4月13日に就任することができなかったが、6月8日、憲法裁判所判事及び補欠判事に就任した。バスケス判事には同日、検察庁無処罰問題対策専門局（FECI）から不逮捕特権剥奪請求が出されたほか、複数の告発事案がペンディングである。

（4）FECIによる現・元判事に対する不逮捕特権剥奪請求

9日、FECIは最高裁の現・元判事8人（シルビア・バルデス現最高裁長官含む）、憲法裁判所判事1人、最高選挙裁判所判事1人に対し、不当な影響力（職権）行使、憲法違反等により不逮捕特権剥奪請求を提出した。影響力行使には、グスタボ・アレホス（2020年の最高裁及び上訴裁判所判事の選挙プロセスにおいて汚職容認派に都合の良い候補者を選出するため、汚職容認派により政治的不正操作が行われたとみられる事件の中心人物）との事前交渉が含まれていた。

（5）中南米汚職状況調査

アメリカン・ソサイエティ（Sociedad de las Americas）が実施した中南米各国の汚職状況調査において、グアテマラは15カ国中13位となった（グアテマラより下位は、ボリビアとベネズエラのみ）。

(6) 殺人数の減少

グアテマラの2020年殺人数(10万人あたり)は15.3人まで減少した。これにより中南米ワースト10から外れた。2009年は46.4人、11年間で3分の1に減少した。

(7) NGO 改正法の発効

21日、NGO改正法が発効した。アムネスティ・インターナショナルなど国内外から批判を受けた法改正であり、場合によって表現の自由、結社の自由、人権擁護などが取り締まれる危険性があり違憲性を指摘されている。

(8) 栄養失調状況の悪化

コロナ禍及び自然災害を経て国内の貧困、栄養失調状況が悪化した。特にアルタ・ベラパス県での栄養失調が顕著であった。

2 内政(新型コロナウイルス関連)

(1) グアテマラの感染状況

検査実施数が少ない週末・祝日の一時的な低下を除き、6月初めは1,500程度であったが、月末に向け2,000~2,500/日で推移、増加した。月末にかけ、アラート信号による規制レベル「赤」の市が増加し、6月28日~7月8日適応の規制では全340市中66%が「赤」となり、地方も含めたコロナ感染拡大が顕著となった。また、6月末時点で、全国の病院のコロナ患者受け入れ状況は首都だけでなく地方の病院においても100%を超えた。

(2) 「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
5月31日~6月13日	174市	92市	74市	0市
6月14日~27日	183市	96市	61市	0市
6月28日~7月8日	226市	69市	45市	0市

注:2020年7月27日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館HP(https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html)を参照。

(3) ワクチン接種・登録

1日より50歳以上のワクチン接種登録が開始された。なお、5月31日より60歳以上の接種が開始された。他方、ワクチン不足と薬不足が継続しており、ワクチン接種会場では、接種登録せずに詰めかける国民も多く混乱が生じた。

(4) ワクチンの到着

ア 3日、COVAXファシリティから3回目のアストラゼネカ社ワクチン32万1,600本が到着した。今回到着分を含めCOVAXを通じ合計74万4,800本が到着した。他方、ロシアのス

プートニクVは引き続き到着が遅れており（契約済み1,600万本中、到着は10万本のみ）、契約見直し・支払い済み経費の返還につき協議が行われている。

イ 16日、第3回目のプートニクV5万回分が到着した。今時到着を含め合計15万回分が到着した。

ウ メキシコから15万回分のアストラゼネカ・ワクチンが到着した（メキシコ政府から中南米諸国への供与の一部）。なお、エブラル・メキシコ外相は、更に15万回分の追加供与にも言及した。

（5）新規感染者数及び死者数の増加

30日、新規感染者数2,855件が検出され、1日の最多件数を更新した。また7月1日、新規感染者数の増加及び過去15日間で死者数751人を記録したとし、保健省は注意喚起を行った。

（6）ムーコル症の検出

23日、チマルテナンゴ県にて新型コロナウイルスに感染した56歳の女性（糖尿病2型患者）がムーコル症（黒い真菌）に感染していることが確認された。同女性は首都サン・フアン・デ・ディオス病院へ搬送されたが29日に死亡。グアテマラでムーコル症が検出された初めてのケースとなった。

4 外交

（1）ブロロ SICA 外相会合参加

1日、ブロロ外相はSICA外務大臣会合に参加するためコスタリカを訪問した。SICA外相会合には、プリンケン米國務長官、エブラル・メキシコ外相も参加した。同会合において、国境を越えた組織犯罪、麻薬密売、人身売買、公的組織の強化、及び法の支配といった共通の利益及び課題への協力を継続するという参加国の意志が表明された。なお、同日、ブロロ外相はエブラル・メキシコ外相と二国間会談を実施した。

（2）ロイター通信によるジャマテイ大統領へのインタビュー（6月2日付）

ア ジャマテイ大統領は、ハリス米副大統領の訪問に関連し、新型コロナウイルスのワクチンを米国から入手する可能性を探っており、入手（受領）のタイミング、またその量については不明であるも、米国からアストラゼネカ社ワクチンの提供を得られるであろうと述べた。（当館注：なお、同大統領は翌3日、ハリス米副大統領からアストラゼネカ社製ワクチン50万本のオファーがあったと公表した）

イ また同大統領は、ホンジュラス及びエルサルバドルといった隣国と異なり、グアテマラは中国製ワクチンには関心が無く、同大統領は理由として、中国製ワクチンは効果が低いと見られることを挙げた。

ウ 併せて、ジャマテイ政権は長年の同盟国である台湾への信義から、中国政府との関係構築を考えていないとも語った。

(3) ハリス米副大統領の当国訪問

ア 6日、ハリス米副大統領が初の外国訪問先としてグアテマラを訪問した。翌7日、ジャマテイ大統領との二国間会談、共同記者会見を実施。また市民社会の代表、シンクタンク関係者や先住民グループとの懇談を行った。

イ ハリス米副大統領は7日の記者会見において、反汚職タスクフォースの立ち上げ、4,800万米ドルの投資（イノベーション、住宅融資、起業支援、農業開発、中小企業支援など）を発表した。

(4) 台湾による国立チマルテナンゴ病院建設支援

ジャマテイ大統領とチェン台湾大使は、チマルテナンゴでの国立チマルテナンゴ病院の建設竣工式に出席した。台湾による約2,265万米ドルの支援で、1年半で建設終了予定。

(5) ジャマテイ大統領の SICA スペイン首脳会談への出席

10日、ジャマテイ大統領はコスタリカを訪問し、SICA スペイン首脳会合へ出席した。ブロロ外相もコスタリカへ同行した。

(6) ニカラグアに対するコミュニケ発出

10日、グアテマラはコスタリカ、ベリーズ、パナマ、ドミニカ共和国、スペインと連名で、ニカラグア政府に反政府派政治家の解放を求めるコミュニケを発出した。

(7) サマンサ・パワーUSAID 代表の当国訪問

米国のサマンサ・パワーUSAID 代表が15日、グアテマラを訪問し、ジャマテイ大統領と会談した。不法移民減少のための経済開発等について協議され、ハリス副大統領訪問の結果を踏まえ、雇用創出を目的にイノベーションや起業家支援、中小企業支援などへ3,700万米ドルが投資されるプログラムが発表された。

(8) ブロロ外相のロシア訪問

ブロロ外相はロシア政府の招へいを受け、20日から25日に同国を訪問した。24日、ラブロフ・ロシア外相とのバイ会談を実施し、スプートニクVの供給についても協議し、ロシア政府はワクチンの早期提供に向けた支援に言及したが供給日は示されなかった。

(9) 米国による当国議員の米入国禁止措置

米国政府は17日、ボリス・エスパーニャ国会議員（TODOS 党）の汚職への関与により、同議員とその家族の米入国を禁止し、同議員が未だに議員職に就いていることを批判した。

(10) エブラル・メキシコ外相の当国訪問

24日、メキシコ政府供与のワクチン15万回分と共に、エブラル外相がグアテマラを訪問した。

5 経済

(1) 労働社会保障省による雇用フェア

1日から8日にかけて、労働社会保障省が米国からの帰国者を対象とした雇用フェアを開催した。なお、2021年1月から6月までの帰国者は約1.3万人であった。募集職種の60%をコールセンターが占めた。

(2) 海外家族送金

1月から5月までの海外家族送金の合計額は12億3,170万米ドル。昨年同時期と比較し約40%増加した。

(3) 米国への旅行者の増加

5月の米国への海外旅行者数は前月4月比48%増加の約5.1万人となった。米国でのコロナワクチン接種を目的としたもの。

(4) 4月の月次経済活動指数

4月の月次経済活動指数は2017年以降で最も高い指数12.4%を記録し、マイナスを記録したコロナ下(2020年3-8月)からの経済活動の改善が鮮明となった。しかし未だ観光業は復調していない。

◇主要経済指標◇	2021年			2020年	2019年
	6月	5月	4月		
インフレ率 (前年同月比)	3.91%	5.17%	5.20%	3.21%	3.70%
貿易収支 (百万ドル)	△1,017	△1,071	△1,029	△6,692.3	△8,710.9
輸出 (百万ドル)	1,137.8	1,088.1	1,050.0	11,514.2	11,170.5
輸入 (百万ドル)	2,154.8	2,160.0	2,079.3	18,206.5	19,881.4
外貨準備高 (百万ドル)	18,748.8	18,929.7	18,812.2	18,468.2	14,789
外国からの送金 (百万ドル)	1,362.5	1,236.7	1,231.7	11,340.4	10,508.3
為替レート (対ドル月平均)	7.74	7.71	7.71	7.72	7.69

(出典：中銀、国立統計院)